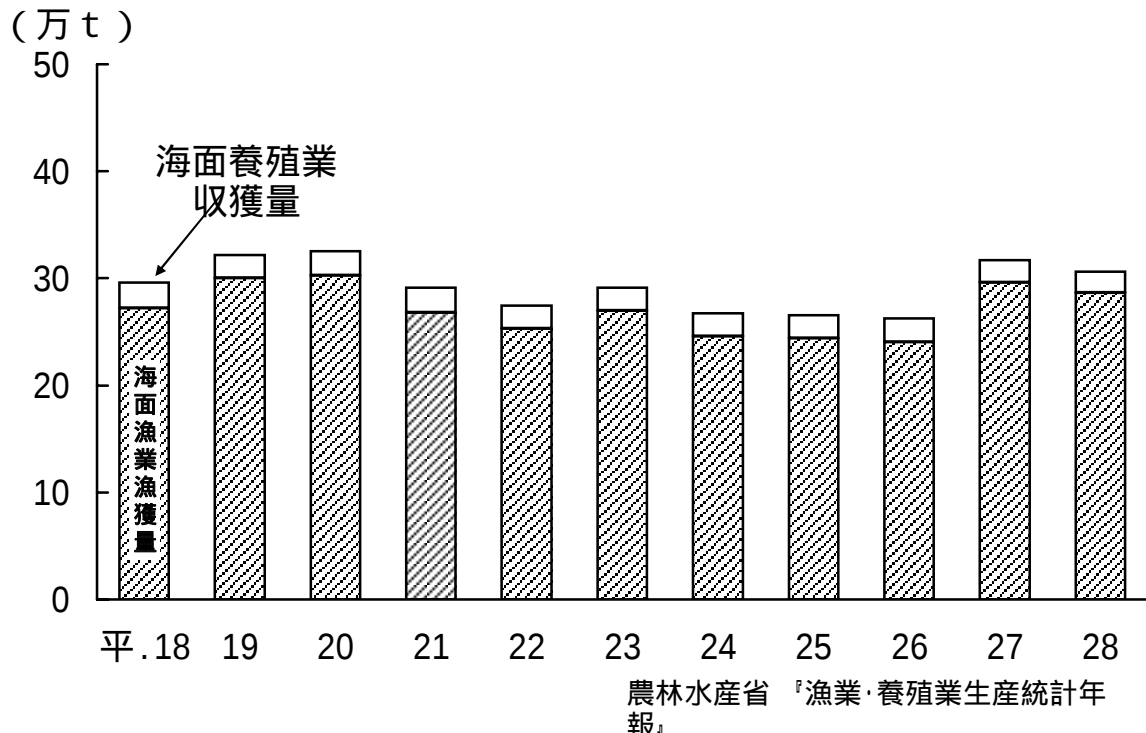


水産業の概況

海面漁業生産量の推移



< 平成27年の概況 >

平成27年の長崎県における海面漁業・養殖業生産量は 31万7,176t で、26年に比べ 5万4,704t (20.8%) 増加しました。

海面漁業の漁獲量は 29万 5,998t で、26年に比べ 5万 5,608t (23.1%) 増加しました。

これは、まぐろ類、むろあじ類、さわら類等で減少したものの、まいわし、うるめいわし、かたくちいわし、まあじ、ぶり類、いか類等が増加したためです。

また、海面養殖業の収獲量は 2万 1,178t で、26年に比べ 905t (4.1%) 減少しました。これは、まだい、貝類等が増加したものの、くろまぐろ、ふぐ類養殖等が減少したためです。

< 平成28年の概況 >

平成28年の長崎県における海面漁業・養殖業生産量は 30万5,959t で、27年に比べ 1万1,217t (3.5%) 減少しました。

海面漁業の漁獲量は 28万 6,490t で、27年に比べ 9,508t (3.2%) 減少しました。

これは、いわし類等で増加したものの、あじ類、ぶり類、いか類等が減少したためです。

また、海面養殖業の収獲量は 1万 9,469t で、27年に比べ1,709t (8.1%) 減少しました。これは、主にぶり類やまだいが減少したためです。

(九州農政局統計部)